

睡眠姦の話のCG集。

Ⅱ

基本CG10枚

差分12枚

寝ている間のそのムチムチの体を
犯しつつくすくす。



睡眠姦の話。



俺はとある学校の学生だ。俺には
気になる同級生がいる。何としてもその女性を
抱きたいと考えている。そのために、。



「おはよう。●君。」
「あ、うん、おはよう。」
○○さんは俺が気になっている女性だ。
地味で目立たないけど、あのムチムチでいやらしい体、
犯したい。





○○さんは俺のことを信用しているようである。
時々家に行つて勉強を教えてもらつたり、遊んだり
してくれる。今日もこれから○○さんの家に行つて
勉強を教えてもらつ、ゝゝゝ。その後は、ゝゝゝ。





「君、すごいね。どんどん成績よくなってるじゃない。」
「いやあ、○○さんの教え方が上手いおかげだよ。」
今日も○○さんの家で勉強を教えてもらった。○○さんは俺に対して完全に気を許している。そんな○○さんの気持ち裏切って俺は○○さんの飲み物に睡眠薬をこっそり混入させた。そして、眠っている○○さんの体をめちゃくちゃにする、、、、。





「ん。」
「どうしたの？○○さん。眠いの？」
「うん、うん。何だかとても眠いの……」
「どうやら睡眠薬が効いてきたようである。」
「○○さんはそのままベッドで眠りに落ちた……」







「すう。。。すう。。。」
「○○さん。寝ちゃったの？」
「○○さんの反応はない。」
「ねえ、○○さん。早く起きないと俺が○○さんの
体をめっちゃぐちゃにしちゃうよ。いいの？」
「やはり○○さんの反応はない。俺は○○さんの
体にむしやぶりつくチャンスをした。」



「ん、ん。」

「はあ、はあ、！こ、これが○○さんの、！」

俺は○○さんの制服を脱がすと、○○さんの胸をひたすら揉みしだいた、○○○。

「はあ、はあ。こ、これが○○さんの、ずっと触りたかった○○さんの胸。」





次に、俺は〇〇さんの下着を脱がして〇〇さんの
アソコにむしゃぶりついた、。、。、。
「あ、はあ、♡」
「ああ、〇〇さんのアソコ、す、いい匂いがする、。
美味しい、。ずっとむしゃぶりついていられる、。、。
」
「ここまでしても〇〇さんは起きない。感じては
いるようだ、。、。」





「はあ、はあ、。○○さん、。」
そして、いよいよ○○さんのアソコに挿入しようとする、。
「ねえ○○さん。俺の、○○さんのアソコに入れてもいい？
返事しないと入れちゃうよ？」
当然○○さんの返事はない。俺は○○さんのやわらかいアソコに
挿入した、、。





「んっ、♡は、♡あ、♡」
「ああ、○○さんのアソコの中、すごい気持ちいい!!」
俺は○○さんが起きてもおかしくないくらい激しく○○さんの
アソコに自分のモノをヌチュヌチュと突き入れた。
「ああ、で、出る、ねえ、○○さん、出している!?!このまま中に出している!?!
返事しないと出しちゃうよ!?!」
返事のしようもない○○さんに意味のない問いかけをして、そのまま俺は果てた。



「うわー」





「はあ、はあ、こ、こんなに出してしまった、。
綺麗にして元に戻さないと、。」
俺は〇〇さんの中に何度も中出ししてしまった。それでも
〇〇さんは起きない。今のうちに彼女の姿をもとに戻して、
また眠らせて俺の性欲処理をさせよう、。」

この度は当作品をご購入くださり、ありがとうございます。

睡眠姦の話です。100円タイプの作品です。同時に公開された作品の関連作品となります。もし気になる方がおりましたらご確認ください。合わせて6作品を公開予定です。s

睡眠姦関連作品(公開予定含)
ep
eq
er
es
ji
jj
j05
jl
jm
jn
s

当サークルホームページ等専用のページを開設致しました。
これらにおいても創作活動を行っておりますので、
よろしければご確認ください。

Blog:<https://sssss.fc2.xxx/>

Pixiv:<https://www.pixiv.net/users/46460147>

Ci-en:<https://ci-en.net/creator/4749>

Fantia:<https://fantia.jp/fanclubs/27877>

※当サークルの作品は全てフィクションです。実際に行うと法律によって処罰される可能性があります。

※当サークルの全作品の無断転載(購入されてない方が閲覧できるようにする)等の行為はご遠慮願います。ご協力の程、よろしくお願いします。